

## 防災通信 No.10

この通信はみなさんの防災意識を高めていただき、少しでも被害を小さく出来ることを目的に作成しています。ご意見等ありましたらお寄せください。

(グリーンテラス本郷台自治会)

# 災害時の停電 灯いの備えを！

災害時に本当に必要なのは「ヘッドライト」だと被災者の多くが語っています。理由は明確で、両手が空くからです。

「ヘッドライト」

災害時は両手を空けておくことが大切。実は懐中電灯よりも、両手が空くヘッドライトが断然便利！停電の間、暗闇の中で片付けをしたり、荷物を運んだりすることもあります。そんなときにヘッドライトを付けていれば、両手をフルに使うことができます。

「LEDランタン」

室内照明には、より照射範囲が広いLEDランタンがおすすめ。食事中などはろうそくも代用できますが余震の時、安全のために吹き消しても困らないように、LEDランタンもそばにあると便利です。家族皆がいつでも同じ場所にいられるわけではないので、リビング・台所・トイレに一台ずつあればいいですね！

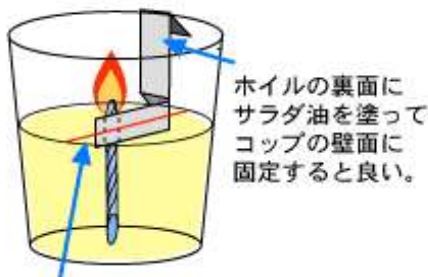
「電池の備えも忘れずに」

ランタンやラジオは、避難生活では必需品です。せっかく常備していても、いざというときに十分に使えなければ意味がありません。スペアの電池も用意して **冷暗所で保管しましょう (冷蔵庫はダメ)**

「ろうそく」

普通はよくろうそくが思い浮かびますが、**災害時に事故が多いのもろうそくの明かりです。** ガス漏れや可燃物の散乱などで、不用意にろうそくを使って火災を起こす事例がとても多いのです。地震の後の火災発生の原因の一つです。ですからろうそくなどは安全を確かめてから、つまり暫くたってから使う物と心得てくださいとのことです。

ろうそくも火災などの危険がないことを確かめた後で使用出来ますので、準備しておくことをお奨めします。ろうそくの良いところは、**長年経っていても使用が出来ることです。** 30年前に購入したろうそくでも使用できましたので、その点での安心感があるそうです。



ホイルの裏面にサラダ油を塗ってコップの壁面に固定すると良い。

ごく少量でも長持ちします。サラダ油の満量の目安は芯をささえるアルミはくの高さの半分くらい。

「身の回りのもので作る簡易ランタン」

このランプの特徴は、安全に使えることです。食用油の発火点は、360度で使用時の油の温度は常温です。万が一コップが倒れても油に火がつくことはありません。ただアルミホイルごとコップから飛び出さぬよう、コップにとめておくことが大切です。

【用意するもの】

・ガラスコップ ・ティッシュペーパー ・アルミホイル ・サラダ油（食用油ならOK、キャノーラ油でも可）

★ サラダ油の量の目安は3時間で5g程度だそうです。